



歴史文書館  
イメージキャラクター  
「文字朗」

磐田市歴史文書館

令和3年 12月 6日

# 文書館だより

第 18 号

磐田市教育委員会教育部文化財課 歴史文書館

ながふじ学府小中一体校開校記念

第 25 回企画展

学制発布 150 年

## 「歴史資料から見た磐田の近代教育」

～校務日誌・沿革誌から探る～

開催中！！

令和3年4月、「ながふじ学府小中一体校」が開校しました。また、令和4年には近代教育の基礎となった「学制」発布から150周年を迎えます。

明治5年（1872）の「学制」発布により、明治6年には市内に23校の学校が開校しました。

最初は寺院などを仮校舎としてスタートした学校でしたが、明治8年には西洋風のモダンな校舎が坊中学校や見付学校、西之島学校で建築されました。現在、三校のうち、現存する「旧見付学校」は、日本最古の木造擬洋風小学校校舎であり、国史跡に指定されています。

「旧見付学校」に代表されるような、学校を建築するための援助や準備を担っていたのは地元の人々であり、「子どもたちの教育や学校づくりは地域で行う」という熱意がなくては磐田の近代教育は出発できませんでした。各学校の『校務日誌』『沿革誌』からは地域の人々の期待や、地域における学校の役割なども見えてきます。

また、『校務日誌』『沿革誌』には大正7年（1918）以降流行した「スペイン風邪」の状況や昭和19年（1944）「東南海地震」の被害状況、戦争による影響なども細かく記されており、学校・職員の側から見た当時の状況や地域と学校の動きなどが分かります。

本企画展では、市内の小学校に残された『校務日誌』や『沿革誌』から、学校がどのように難局を乗り越えてきたのか、また、人々の熱意や支援、苦勞などはどのようなものであったのかについて紹介しています。

さらなる進化へ向けてスタートを切った「磐田の教育」の歴史を覗いてみませんか。皆様のご来場をお待ちしています。



二階展示室



一階展示室

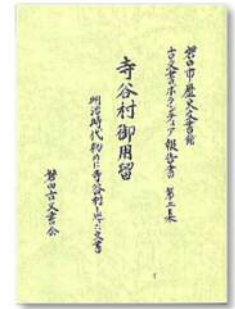


12月17日（金）まで  
開催中！！（平日のみ）

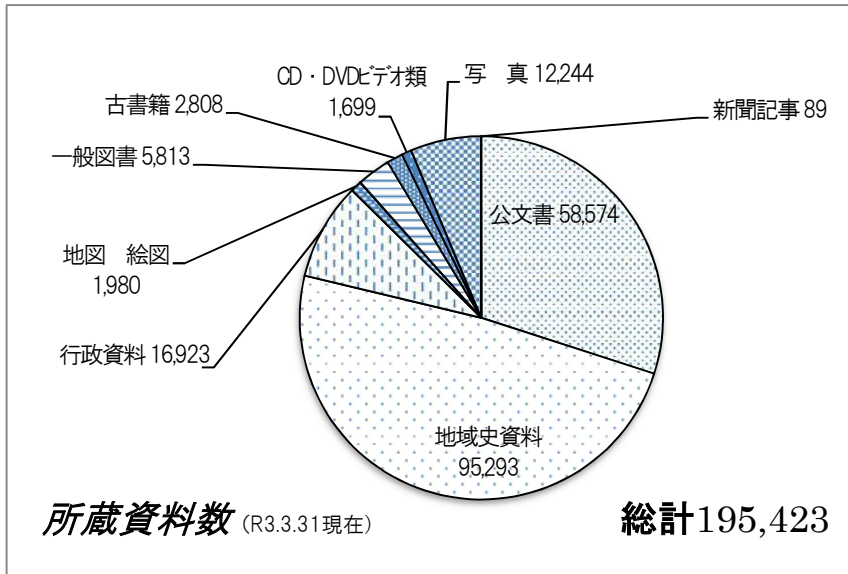
## 古文書ボランティア

初級から上級までの当館古文書講座を受講した方々が当館所蔵資料の翻刻、年度末の報告書刊行に向けて精力的に取り組んでいます。

また、昨年度末には寺谷村（現磐田市）の明治初年の『御用留』報告書が刊行されました。歴史文書館・市内図書館で閲覧できます。



## 所蔵資料数(令和2年度末)



令和2年度末の所蔵資料数は、左のグラフのとおり総計195,423点となりました。

公文書は、保存期限が満了したものを選別し、歴史的・文化的に重要な文書、説明責任上で保存すべき文書など58,574点を保存しています。

また、地域史資料として、「松山源八日記」や「成瀬家資料（近代資料）」など計362点を新たに寄贈していただきました。

## お知らせ

### 1 第25回企画展「磐田の近代教育」

と き：令和4年1月8日（土）～16日（日）午前9時～午後6時  
（土・日曜日は午後5時まで 10日(月)は休館）入場無料

ところ：磐田市立中央図書館 展示室

### 2 歴史学習会「学校に眠るたからもの」

講 師：和崎光太郎氏

（東京福祉大学保育児童学部准教授、磐田市歴史文書館運営審議会委員）

と き：令和4年1月9日（日）午後1時30分～3時 午後1時開場

ところ：磐田市立中央図書館 2F 視聴覚ホール

定 員：30人（先着順） 参加費：無料 ※コロナ感染状況により中止の場合があります。

申 込：12月24日(金)午前9時～電話で歴史文書館へ（受付は1人につき2名分まで）



最近、増えています！  
こんな時にはご相談ください。

- 古い家や蔵を壊すので、古文書や古写真などの資料を、磐田市へ寄贈したい。
- 郷土や先祖の研究のため、資料を紹介してほしい。



### 磐田市歴史文書館

所在地 〒438-0292 磐田市岡729-1

電話 0538(66)9112

FAX 0538(66)9722

E-Mail [chiikishi@city.iwata.lg.jp](mailto:chiikishi@city.iwata.lg.jp)

休館日 土・日・祝日・年末年始

開館時間 午前9時～午後5時